

会話のしくみを知ろう よりよいコミュニケーションのために ～聞く・理解する・考える・話す～

“ことばを聞いて、そのことばに返事をする” 行動には、大きく分けて、**耳** (①聞く) → **脳** (②ことばを理解する③返事を考える) → **口** (④話す) の4つのステップがあります。このステップを繰り返しながら、私たちはことばをつかってコミュニケーションをしています。

ココに着目

大人は・・・

- 聞き取りやすい声の高さや速さで話していますか
- 子ども(聞き手)の注意は大人(話し手)に向いていますか

子どもは・・・

- 音が聞こえていますか
- 正しく音を聞き取れていますか

メモ

日常的に音が聞こえにくい様子が見られたら、地域の子育て支援機関に相談してみましょう

1 聞く



2 ことばを理解する



ココに着目

大人は・・・

- 子ども(聞き手)が理解しやすいことばを使って話していますか
- 短く簡潔に伝えていますか

子どもは・・・

- 大人(話し手)に言われたことばを知っていますか
- 話の内容を理解できていますか

メモ

ことばを理解するまでに時間がかかる子どももいます。急かさず、大人が待つことも大切です



ココに着目

大人は・・・

- 子どもの話を聞く姿勢ができていますか
- 子どもの話に興味をもって最後まで聞いていますか

子どもは・・・

- しっかり息を吸ったり、吐いたりできていますか
- 口や舌、頬を上手に動かして、正しく発音できていますか

メモ

深く呼吸する力や口や舌を動かす力を育てるために、生活リズムを整え、全身を使う遊びや運動を通して、身体の成長を促しましょう

4 話す



3 伝えたいことを考える



ココに着目

大人は・・・

- 「ことばで伝えることができうれしい」と感じる経験を、子どもに積ませていますか
- 伝えたいことをことばにできるようにサポートしていますか

子どもは・・・

- 相手に伝えたいという気持ちが育っていますか
- 伝えたい気持ちやイメージをことばに置き換えることができますか

メモ

子どもがうまくことばにできない時は、写真や実物を見せてことばを教えるなど、ヒントを出してあげましょう

ことばによるコミュニケーションの力を育てるために

使えることばを増やしましょう

ことばの知識を増やすために、絵本を読み聞かせたり、幅広い分野の本に触れさせたりしてみましょう

話した内容を覚えておく力を伸ばしましょう

しりとりや伝言ゲームのような遊びを通して、ことばを聞いて覚える練習をしましょう

話す内容や話し方を状況に合わせて変える力も大切です

順序だてて話す力を育てるために、大人が子どもの話を整理しながら聞いて、話し方の見本をみせましょう



言語聴覚士
三吉 聡子先生